



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 オークー食品工業株式会社
 コード番号 2905 URL <http://www.ok-food.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大重 年勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 城後 精二
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0946-22-2000

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,633		50		68		78	
29年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 72百万円 (%) 29年3月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.30	
29年3月期第2四半期		

(注) 1. 平成30年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期及び前年同四半期増減率については記載してありません。

2. 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、当該株式併合が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,876	2,340	26.4
29年3月期			

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,340百万円 29年3月期 百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値については記載してありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300		110		130		120		32.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 平成30年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載してありません。

2. 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、平成30年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) ベジプロフーズ株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細につきましては、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,718,141 株	29年3月期	3,718,141 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	14,219 株	29年3月期	13,945 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,704,105 株	29年3月期2Q	3,704,442 株

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成30年3月期第1四半期連結会計期間にベジプロフーズ株式会社の全株式を取得し、子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善等により、景気は緩やかな回復基調を続けてまいりました。しかしながら、東アジアにおける地政学的リスクの高まりや、米国政権の政策動向等、先行き不透明な状況が依然続いております。

一方、加工食品業界を取り巻く環境は、国内人口の減少を背景としたマーケットの縮小、同業者間での顧客獲得競争の激化に加え、輸入原材料価格の高止まり等により、収益環境は厳しさを増しております。また、お客様の「食」に対するニーズは多様化、高度化しており、これまで以上に「安全で安心な質の高い商品」、「お客様のニーズに沿った商品の品揃え」が求められております。

このような状況のもとで、当社グループは、食品メーカーとしての基本である「安全性」確保のために「品質管理」を一層徹底し、「安全で安心な質の高い製品やサービス」の提供に取り組むとともに、業務の効率化と更なるコスト削減を進めることで企業価値の向上に努めてまいりました。

営業面では、当社グループの強みである多品種少量生産の技術をもってきめ細かい営業に努め、国内及び海外向けの販路拡大により収益力の向上に取り組んでまいりました。

生産面では、品質管理をより一層徹底し安全で安心な商品作りに努める一方、顧客ニーズに沿った品揃えの充実とあわせ、生産効率向上によるコスト削減に取り組んでまいりました。

管理面では、業務の効率化を進めるとともに、経費の削減について継続的に取り組んでまいりました。

また、第1四半期連結会計期間においてベジプロフーズ株式会社の全株式を取得し、子会社化したことにより、更なる業容拡大とお取引様への製品供給を円滑に進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46億33百万円、営業利益50百万円、経常利益68百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は78百万円となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、88億76百万円となりました。

流動資産は、33億78百万円となり、これは主に受取手形及び売掛金16億28百万円、原材料及び貯蔵品6億35百万円等であります。

固定資産は、54億98百万円となり、これは主に有形固定資産45億90百万円、投資その他の資産8億91百万円等あります。

負債合計は、65億36百万円となりました。

流動負債は、31億81百万円となり、これは主に短期借入金11億60百万円、支払手形及び買掛金7億36百万円等あります。

固定負債は、33億54百万円となり、これは主に長期借入金25億64百万円等であります。

純資産合計は、23億40百万円となりました。これは主に資本金18億59百万円、利益剰余金4億19百万円等あります。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、当第2四半期連結会計期間末で5億54百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、97百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加が3億円、売上債権の増加が1億5百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億5百万円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が4億61百万円、生産能力維持及び製造原価低減のための機械購入等、有形固定資産の取得による支出が3億64百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、9億72百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が2億1百万円あったものの、短期借入金純増額が2億55百万円、長期借入による収入が9億40百万円あったこと等によるものです。

(注) 第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、本日公表の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、今後の見通しにつきましては、経営環境の変化等により業績予想の見通しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	554,477
受取手形及び売掛金	1,628,370
商品及び製品	437,113
仕掛品	24,367
原材料及び貯蔵品	635,703
繰延税金資産	67,885
その他	31,399
貸倒引当金	△947
流動資産合計	3,378,368
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,584,642
機械装置及び運搬具(純額)	1,233,342
土地	1,625,035
その他(純額)	147,625
有形固定資産合計	4,590,646
無形固定資産	15,951
投資その他の資産	
その他	896,215
貸倒引当金	△4,710
投資その他の資産合計	891,505
固定資産合計	5,498,103
資産合計	8,876,471

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	736,152
短期借入金	1,160,000
1年内返済予定の長期借入金	478,796
未払法人税等	21,681
賞与引当金	81,718
その他	703,043
流動負債合計	3,181,391
固定負債	
長期借入金	2,564,072
関係会社長期借入金	363,000
役員退職慰労引当金	2,890
退職給付に係る負債	235,598
資産除去債務	52,815
その他	136,269
固定負債合計	3,354,644
負債合計	6,536,035
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,859,070
利益剰余金	419,238
自己株式	△16,525
株主資本合計	2,261,783
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	76,959
退職給付に係る調整累計額	1,692
その他の包括利益累計額合計	78,652
純資産合計	2,340,435
負債純資産合計	8,876,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,633,075
売上原価	3,543,408
売上総利益	1,089,667
販売費及び一般管理費	1,038,904
営業利益	50,762
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	3,517
受取賃貸料	37,829
その他	13,434
営業外収益合計	54,782
営業外費用	
支払利息	16,447
賃貸収入原価	19,176
その他	1,031
営業外費用合計	36,655
経常利益	68,889
特別利益	
投資有価証券売却益	8,021
特別利益合計	8,021
税金等調整前四半期純利益	76,911
法人税、住民税及び事業税	9,241
法人税等調整額	△11,211
法人税等合計	△1,969
四半期純利益	78,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	78,881
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△6,409
退職給付に係る調整額	△382
その他の包括利益合計	△6,792
四半期包括利益	72,088
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	72,088
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	76,911
減価償却費	232,548
のれん償却額	4,150
貸倒引当金の増減額(△は減少)	313
賞与引当金の増減額(△は減少)	764
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,319
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	340
受取利息及び受取配当金	△3,518
支払利息	16,367
有形固定資産除却損	546
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,021
売上債権の増減額(△は増加)	△105,757
たな卸資産の増減額(△は増加)	△300,781
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,859
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,147
その他	15,588
小計	△61,940
利息及び配当金の受取額	3,518
利息の支払額	△16,644
法人税等の支払額	△22,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	△97,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△364,900
投資有価証券の取得による支出	△2,893
投資有価証券の売却による収入	23,703
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△461,055
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△805,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	255,000
長期借入れによる収入	940,000
長期借入金の返済による支出	△201,732
リース債務の返済による支出	△20,853
その他	△343
財務活動によるキャッシュ・フロー	972,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69,519
現金及び現金同等物の期首残高	484,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	554,477

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、ベジプロフーズ株式会社の全株式を取得し、子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

なお、ベジプロフーズ株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。